

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と地域が協力しながら、地域の伝統文化を継承していくための重要な活動と位置付けて取り組んでいる。お盆に行われる港まつりや大晦日に地域保存会が演奏を行うが、帰省した高校生や大人も加わり演奏することもあり、子供たちの憧れや意欲を高める機会となっている。また、本校は留学制度による転入児童があることから、鹿島太鼓に初めて触れる児童もいるが、鹿島のよさを学ぶ機会と捉え、練習に取り組むようにしている。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



練習風景



港まつりでの様子



平成 29 年度文化祭での発表（地域）



平成 29 年度文化祭での発表（小学校）

8 参加児童・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【3年生児童】

留学生で鹿島に来て、初めて太鼓を習いました。太鼓の練習は楽しいです。みんなと合わせて、音がそろうとうれしいです。

【保護者】

始めた頃はなかなかリズムが覚えられず自信なさげに太鼓を叩いていた息子でした。何度も練習を重ね、鹿島港まつりや合同文化祭で堂々と演奏する姿を見て、親として嬉しく思いました。太鼓の練習を通して大きく成長させていただき、また鹿島太鼓の伝承に関わることができたことに嬉しく思っています。

【教職員】

毎年、保護者・地域の皆さんが楽しみにしていらっしゃるの、練習も真剣です。最初はなかなか音が合わずに大変ですが、練習を重ねるごとに音がそろうようになり、児童は達成感を感じつつ練習を楽しみにしています。今後も鹿島の伝統の担い手として、鹿島太鼓に関わり、受け継いでいってほしいと思います。